

「放課後等デイサービス研修(幼児・小学生向け)」

開催要項

1. テーマ

「放課後等デイサービス事業に関する基礎知識と
子どもの発達と最善の利益を考慮した支援について」

2. 講師

NPOあいち障害者センター 理事長 近藤 直子 氏

＜プロフィール＞

1973 年京都大学教育学部卒業、京都大学大学院教育学研究科博士課程を中退し、1977 年に日本福祉大学赴任。2009 年に副学長就任。2016 年 3 月退任。

1973 年より 18 ヶ月児健診後の発達相談も担当。現在はNPOあいち障害者センターの理事長を務め、実態調査から相談活動、講座、出版など幅広く活動している。

主な著書:『増補版子どものかわいさに出あう』(クリエイツかもがわ、2022)、『気になる子の秘められた魅力』(クリエイツかもがわ、2022)『療育って何?』(クリエイツかもがわ、2018)など多数。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和 7 年 9 月 1 日 (月) 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7 階 大会議室

名古屋市北区清水 4-17-1

最寄駅: 地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】60 名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害児支援関係業務従事者

5. ねらい

放課後等デイサービス事業の成り立ち等の背景や事業所職員として必要な視点について再確認するとともに、他機関との連携や、サービスを利用する子どもや保護者との関わり方・支援方法の基本について学ぶ。また演習を通して自身の日頃の支援の振り返りを行いながら、よりよい支援について考える機会とする。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	<講義・演習> 「放課後等デイサービス事業に関する歴史・基本理念」 「障害者権利条約に学び、障害児理解を深める」
12:00	昼休憩
13:00	「事前レポートを踏まえたグループ討議」
16:00	

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyou>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 1 9 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。
 詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「障害福祉制度研修」開催要項

1. テーマ

「障害者総合支援法や関連法の基礎的理解」

2. 講師

社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
名古屋市総合リハビリテーションセンター

相談支援部長 小島 一郎 氏

＜プロフィール＞

1991年に知的障害者授産施設で勤務開始、2002年に同施設所長に、2006年名東区障害者地域生活支援センター長、2014年同区障害者基幹相談支援センター長、2019年瑞穂区障害者基幹相談支援センター長を経て、2025年より現職。厚生労働省「相談支援従事者指導者養成研修検討会委員」等数々の要職を歴任、椙山女学園大学で非常勤講師も務める。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年9月4日（木） 10:00～16:00

【会 場】名古屋市医師会館 6階 講堂

名古屋市東区葵1-4-38

最寄駅：地下鉄東山線「新栄町」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害者（児）支援関係業務従事者

5. ねらい

障害者総合支援法や障害者虐待防止法、差別解消法などの概念や制度策定までの時代背景等の基礎知識から、利用者を支援するにあたっての姿勢を振り返る機会とする。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	講義「障害者総合支援法が目指すもの～基礎的理解～」
12:00	昼休憩
13:00	講義「関連法の動向と権利擁護の視点～現場実践に向けて～」
14:30	演習
16:00	(グループワーク) まとめ

※講義の中でもミニ演習を行います。

※午後の演習の時間は進行状況により、前後する可能性があります。

※開始 5 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日 (火)

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。(<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8 月 1 9 日 (火)** までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市内において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。

「サビ管・児発管のための個別支援計画作成研修」開催要項

1. テーマ

「実践が活きる個別支援計画作成のためのワークショップ
～本人のねがいを受けとめた豊かな地域生活の支援のために～」

2. 講師

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 木全 和巳 氏

＜プロフィール＞

愛知教育大学大学院を修了後、名古屋市職員に。社会福祉学博士。社会福祉士。
児童養護施設保育士、知的障害児施設指導員、情緒障害児短期治療施設セラピストを経験。
日本福祉大学の教員になり、24年目。専門分野は障害児者の福祉。
著書『安心して豊かに暮らせる地域をつくる』『〈しょうがい〉と〈セクシュアリティ〉の相談と
支援』など。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年9月10日(水) 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】 50名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】 障害福祉事業所に勤務するサービス管理責任者および児童発達支援管理責任者

5. ねらい

支援計画（具体的な手立て）は、誰のためにつくるのですか？ 利用者？ 支援者？ その理由は？ 実践には、計画はつきものです。対人援助や生活支援の実践も同様です。よい計画をつくるためには、しっかりとした見立て（分析）が必要です。しっかりとした見立て（分析）をするためには、丁寧な情報収集（アセスメント）が欠かせません。こうしたお互いに深く知り合う作業そのものが、信頼関係を深め、実践の質を豊かなものにしていきます。

机上の理念ではなく、実際に作成した計画を見直しながら、大切なポイントを確認しましょう。

※本研修では、作成した個別支援計画の見直しをし、新しく作成し直す演習を実施します。

また、事前課題を設けます。詳しくは受講決定後にお知らせいたします。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	講義・演習 「個別支援計画とは」
12:00	昼休憩
13:00	講義・演習 「計画の見直し」「ポイントの確認」
16:00	

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyou>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8 月 1 9 日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
 なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
 事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場
 合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
 「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 本研修は、令和 7 年 1 1 月 1 4 日(金)にも同一内容にて集合研修を開催予定です。

「ファシリテーション研修」開催要項

1. テーマ

「ファシリテーターとしての役割やスキルを学ぶ」

2. 講師

株式会社日本マネジメント協会 田中 宏幸 氏

〈プロフィール〉

販売職を経て人材派遣会社へ転職し、法人営業を9年担当。
平成18年に人材派遣会社 株式会社ウィング創業以後、採用支援事業、キャリアコンサルティング事業、大学就職支援事業を展開。平成27年に名古屋経済大学 准教授、キャリアセンター副センター長 就任。平成31年に大学退職。事業に一本化。
「株式会社 人材と採用」商号変更。至現在。日本マネジメント協会(中部)専任講師 就任

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年9月17日(水) 10:00～16:40

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】80名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に従事し、概ね経験年数3～5年の職員

5. ねらい

ファシリテーションの考え方と会議への準備、スキルを体験的に学ぶ機会を提供します。これらを実践することで会議がまとまる、決まる、終わるようになります。

すると、本来皆さんがやるべき業務を行う時間を作ることも可能になります。

まとまらない、決まらない、終わらない、何の時間だったかわからない…。そんな会議を行わないようにするため、積極的にご参加ください。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	講義・演習 ・ファシリテーションとは？ ・ファシリテーションの実習
12:00	昼休憩
13:00	講義・演習 ・全体共有と課題の整理 ・ファシリテーションで3つの不を防止
16:00 16:40	高齢者及び障害者虐待防止法の理解

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※16 時より高齢者及び障害者虐待防止法について理解を図る研修を実施させていただきます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8月19日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、
配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。

「強度行動障害のある人への支援について学ぶ研修」開催要項

研修番号

05

1. テーマ

「強度行動障害の基礎的知識と支援の組立」

オンライン

2. 講師

国立重度知的障害者総合施設のぞみの園

総務企画局 研究・人材養成部 研究課 研究2係 主任 高橋 淳 氏

施設事業局 生活支援部 特別支援課 かわせみ第2寮 富田 幸義 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年9月22日（月） 10:00～16:00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害者(児)福祉施設に勤務する職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows11 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC 内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

強度行動障害の基礎知識及び特性に配慮した支援の組み立て方を学ぶことで、自傷、他傷、破壊、こだわりなどへの対応を考えられるようになる。併せて、突発的、衝動的な行動への備えを身につけ、虐待の予防につなげる。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	操作説明
10:00	【講義】 「強度行動障害とは」
12:00	昼休憩
13:00	【講義・演習】 「強度行動障害のある方への支援の組立・実践報告」
15:15	【演習】
16:00	グループワーク・質疑応答

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和 7 年 8 月 12 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 19 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけの参加や聴講のみの参加はできません。
必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1 端末につき 1 名参加することができます。※1 台の PC で複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
またその他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。
- (7) 本研修は、令和 6 年度まで開催されていた「強度行動障害研修」の名称を変更したものです。内容は令和 6 年度までのものと同一です。

「障害児支援基礎研修」開催要項

研修番号

06

集合

1. テーマ

「障害児支援に携わる職員として大切な視点と
個別支援計画の基本的な考え方」

2. 講師

社会福祉法人名古屋キリスト教社会館

南部地域療育センターそよ風 副所長 佐藤 明裕 氏

社会福祉法人あさみどりの会

児童発達支援センターさわらび園 園長 山本 智恵 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年9月24日（水） 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害児福祉事業所に勤務する職員等

5. ねらい

障害児支援の基本的な理念や利用児童それぞれの発達段階に応じた支援方法や保護者とのかかわり方を学ぶとともに、利用児童の発達に応じた個別支援計画について確認する。また演習にて、自己の支援内容の振り返りや事業所間の情報交換も行い、障害児支援のさらなる質向上を目指します。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	<講義> 「障害児支援の基本理念」 「発達段階に応じた支援方法」 「保護者との関わり方」
12:00	昼休憩
13:00 16:00	<演習> 「個別支援計画の基本的な考え方」 「グループワーク」

※一部内容を変更する場合があります。

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と **社会福祉研修センター** で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8月19日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前アンケートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「就労支援研修」開催要項

研修番号

07

集合

1. テーマ

「就労支援従事者のためのSST研修」

2. 講師

同朋大学 社会福祉学部 教授 社会福祉学部長
精神保健福祉士 吉田 みゆき 氏

＜プロフィール＞

20年以上精神病院でソーシャルワーカーとして働き、2006年度より現職。

1992年にソーシャルワーカーとして勤めていた名古屋市の北林病院にてSSTをはじめ、その後院内だけでなく地域の家族会、作業所でもSSTを行い、また「愛知SST経験交流会」を立ち上げる等を経て、現在は学生とともに「吉田ゼミ誰でも参加できるSST」を学内で開催している。また、定期的に刑務所、更生保護施設へも出向いて幅広く活躍中。

SST普及協会認定講師、精神保健福祉士。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年9月29日（月） 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】60名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】就労支援事業所職員

5. ねらい

認知行動療法のひとつであるSST(ソーシャル・スキルズ・トレーニング)を学ぶことで、社会生活上で様々な困難を抱える人たちの自己対処能力を高め、自立を支援する技術の習得を目指す。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	講義・演習 「S S Tについて」 「就労支援場面でのS S T」
12:00	昼休憩
13:00	演習・まとめ
16:00	「就労支援に活かせるS S Tを学ぶ」

※計画であり、若干の時間や流れの変更の可能性があります。

※開始5分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyoku>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- （1）研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- （2）講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- （3）都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- （4）研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- （5）受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となる場合があります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- （6）受講決定者に対し、事前レポートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「介護技術向上研修（高齢事業所向け）」開催要項

1. テーマ

「体位変換と移動・移乗の基本を学ぶ」

2. 講師

名古屋柳城短期大学 教授 介護福祉士 大崎 千秋 氏

<プロフィール>

あいち技術コンテスト 監修・審査委員長 平成30年～令和2年

介護福祉士国家試験幹事委員 平成20年～平成29年 EPA外国人介護福祉士候補生講師

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月1日（水） 10:00～16:00

【会 場】あいち福祉医療専門学校 3階 介護実習室

熱田区金山町1-7-13

最寄駅:「金山」駅 南口より徒歩約2分

4. 定員及び対象者

【定 員】30名（原則、1施設につき1名）

【対象者】高齢関係事業所に勤務する職員

5. ねらい

介護技術の中でも体位変換と移動・移乗は、利用者の生活のあらゆる場面で必要とされる技術です。それだけに、この技術を身につけることは利用者の生活の安心・安全につながるとも言えます。本研修では、利用者の自然な動きを理解し、それに応じた介護技術ができるように展開します。人の自然な動きを理解し、利用者・介護者双方に負担のない介護技術のありかたを学びましょう。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	講義 「体位変換と移動・移乗介助の基本を学ぶ」
11:00	演習 「体位変換と移動・移乗」
12:00	昼休憩
13:00	・演習「体位変換と移動・移乗」
16:00	・グループワーク

※計画であり、若干の時間や流れの変更の可能性があります。

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>

名古屋市社協 と **社会福祉研修センター** で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8月19日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 体調不良、皮膚のトラブル等で演習ができない場合、当日、講師とご相談ください。
- (2) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- (3) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (4) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (5) 都合によりキャンセルされる場合は、事前にご連絡ください。
- (6) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (7) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。

<服装・持ち物>**【演習の服装・身だしなみ】**

- | | |
|----------------------------|--------------|
| ①ポロシャツ・Tシャツ | ④アクセサリ着用不可 |
| ②ジャージ下（長ズボン） | ⑤爪は短くしてください |
| ③介護実習室用上履き（スリッパ、ビーチサンダル不可） | ⑥長い髪は束ねてください |
- ※演習にふさわしい服装・身だしなみでご参加ください。

【その他持ち物】

- ①ぞうきん1枚 ②筆記用具 ③昼食

「介護技術向上研修（障害事業所向け）」開催要項

1. テーマ

「体位変換と移動・移乗の基本を学ぶ」

2. 講師

名古屋柳城短期大学 教授 介護福祉士 大崎 千秋 氏

<プロフィール>

あいち技術コンテスト 監修・審査委員長 平成30年～令和2年

介護福祉士国家試験幹事委員 平成20年～平成29年 EPA外国人介護福祉士候補生講師

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月2日（木） 10:00～16:00

【会 場】あいち福祉医療専門学校 3階 介護実習室

熱田区金山町1-7-13

最寄駅:「金山」駅 南口より徒歩約2分

4. 定員及び対象者

【定 員】30名(原則、1施設につき1名)

【対象者】障害関係事業所に勤務する職員

5. ねらい

介護技術の中でも体位変換と移動・移乗は、利用者の生活のあらゆる場面で必要とされる技術です。それだけに、この技術を身につけることは利用者の生活の安心・安全につながるとも言えます。本研修では、利用者の自然な動きを理解し、それに応じた介護技術ができるように展開します。人の自然な動きを理解し、利用者・介護者双方に負担のない介護技術のありかたを学びましょう。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	講義 「体位変換と移動・移乗介助の基本を学ぶ」
11:00	演習 「体位変換と移動・移乗」
12:00	昼休憩
13:00 16:00	・演習「体位変換と移動・移乗」 ・グループワーク

※計画であり、若干の時間や流れの変更の可能性があります。

※開始5分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 体調不良、皮膚のトラブル等で演習ができない場合、当日、講師とご相談ください。
- (2) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- (3) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (4) 空調管理の調節が難しいため、ご自分で温度調整ができる服装でご受講ください。
- (5) 都合によりキャンセルされる場合は、事前にご連絡ください。
- (6) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (7) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。

<服装・持ち物>**【演習の服装・身だしなみ】**

- | | |
|-------------------------------------|--------------|
| ①ポロシャツ・Tシャツ | ④アクセサリ着用不可 |
| ②ジャージ下（長ズボン） | ⑤爪は短くしてください |
| ③ <u>介護実習室用上履き</u> （スリッパ、ビーチサンダル不可） | ⑥長い髪は束ねてください |
- ※演習にふさわしい服装・身だしなみでご参加ください。

【その他持ち物】

- ①ぞうきん1枚 ②筆記用具 ③昼食

「放課後等デイサービス研修(中高生向け)」

開催要項

1. テーマ

「子どものまなざしで実践をとらえなおそう」

—思春期青年期のしょうがいとある子どもへの共感的理解を大切にしつつ—

2. 講師

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 木全 和巳 氏

<プロフィール>

愛知教育大学大学院を修了後、名古屋市職員に。社会福祉学博士。社会福祉士。
児童養護施設保育士、知的障害児施設指導員、情緒障害児短期治療施設セラピストを経験。
日本福祉大学の教員になり、24年目。専門分野は障害児者の福祉。
著書『安心して豊かに暮らせる地域をつくる』『〈しょうがい〉と〈セクシュアリティ〉の相談と
支援』など。

3. 開催日時及び会場

【日 時】 令和7年10月7日(火) 10:00～16:00

【会 場】 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】 60名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】 障害児支援関係業務従事者

5. ねらい

わたしたちは、放課後等デイサービスで働く実践者です。実践者ですから、ただキヨリをとっての「観察」ではなく、「見立て」(想像し)て、具体的に「手立て」(働きかけ)て、時々立ちどまって、ふりかえる(自分の立ち位置も含め綴り、仲間たちや保護者たちや時に本人たちと)ことを通して、より「子ども理解」を深め合っていきます。これは「自分理解」にもつながります。困った子どもではなく、困っている子ども。子どもたちの「そうしなくてはならない」「心の声」も含んだ「物語り」を語ることが大切だという視点です。この講義の課題は、「物語り」。生育歴、しょうがい特性、発達やいまの環境などなどを本人の視点で「自己紹介」を創造することを通して、本人のおもいやねがいを共感的に理解するために必要な基本的な技術について学び合いましょう。

今回は、特に思春期の子どもたち、青年たちに視点をあてて、からだの変化やこころの変化への理解と支援について、学び合えると良いですね。ふれあい、キヨリ、マスターベーション、恋愛感情などなど、支援者のみなさんも困っている事例を手がかりに、学び合いましょう。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	【講義・演習】 ① 話題提供 講師 ② グループでの読み合いとコメント
12:00	昼休憩
13:00 16:00	③ グループの代表のレポート発表とコメント ④ まとめ

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyou>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 1 9 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「介護記録研修」開催要項

1. テーマ

「介護記録の書き方」

2. 講師

名古屋柳城短期大学 教授 介護福祉士 大崎 千秋 氏

<プロフィール>

あいち技術コンテスト 監修・審査委員長 平成30年～令和2年

介護福祉士国家試験幹事委員 平成20年～平成29年 EPA外国人介護福祉士候補生講師

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月8日（水） 10:00～16:00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】80名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する採用後概ね1年未満の職員

5. ねらい

「介護記録」はより良いサービスを提供するうえで非常に重要となるが、「書かれていない」「他人が読んでも理解ができない」などしっかりと整備されていない事業所も多い現状がある。そのような中、介護記録の「意義」「目的」や「活用方法」などを学び、介護記録の重要性とサービス提供との関係性を再確認するとともに、演習で例題をもとに実際に介護記録を書き、介護職員として留意すべき記録の書き方、他者が読みやすい記録の書き方を学ぶ。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	＜講義・演習＞ 「記録の意義と目的」 「記録を書くときの留意事項」
12:00	昼休憩
13:00 16:00	＜講義・演習＞ 「支援経過記録の書き方」 「グループワーク」

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyoku>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8 月 1 9 日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
 なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
 事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場
 合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
 「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 本研修は、令和 7 年 7 月 2 5 日（金）オンラインにて開催の研修と同一内容です。

「ICT 活用による業務効率化研修（導入）」開催要項

1. テーマ

「80 歳も成功した導入の工夫、効果を最大化する“文化”の改革」

2. 講師

株式会社イコール 代表取締役 小林 知久 氏

＜プロフィール＞

東京都東大和市など4市区で介護保険・障害の訪問系介護事業を運営。従業員 103 名。
2003 年 24 歳の時に母と創業、2014 年社長就任。2011 年より、自社の業務効率化・ICT 導入を実施。80 歳までの全職員がスマホ現場記録やオンライン会議が出来る体制にし、福利厚生を拡充。
”採用に困らない”事業所となる。ノウハウをサイト等で発信。1977 年生、早稲田大学卒。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和 7 年 10 月 10 日（金） 10:00～16:40

【会 場】オンライン会場 ※ZOOM を使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100 名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

- (1) パソコン（Windows11 推奨）及びインターネット環境（光回線）
※7.9 インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。
なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。
- (2) 静かな環境（部屋）
※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。
- (3) ヘッドセット（マイクとイヤホン） ※PC 内蔵のものでも可能です。
- (4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

福祉の職場での ICT を活用した業務効率化方法や事例等を学び、業務負担の軽減とともに働き方改革の実現を目指す。

ICT に不慣れな介護職員に対応するために、事前準備・指導体制・運用方法などの事例により、ICT 導入の入口でのつまずきを解消・防止することを目指す。

また、導入でそれほど効果が感じられない状況を改善するために、さらには導入後の ICT の発展的な可能性へ繋ぐために、ツール基礎知識・ツール事例の網羅的な確認・業務方法を変える視点などを知り、原因分析・対応策の選択が出来るようになることを目指す。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	操作説明
10:00	【講義】 「ICTの効用・導入の工夫、弊社の活用例、注意点」
12:00	昼休憩
13:00	【講義・演習】 「テレワーク対応、効果最大化のための“文化”の変更、各ツールの詳細解説」
16:00	高齢者及び障害者虐待防止法の理解
16:40	

※一部内容を変更する場合があります。

※開始15分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※16時より高齢者及び障害者虐待防止法について理解を図る研修を実施させていただきます。

8. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページからお願いいたします。
(<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyoushou>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください

※ 8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- （1）本研修はZOOMを使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくにはPC及びインターネット環境が整っている必要があります。
- （2）本会ホームページにZOOMの動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- （3）本研修は音声だけの参加や聴講のみの参加はできません。必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- （4）1端末につき1名参加することができます。※1台のPCで複数名の受講は不可。
- （5）受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となる場合があります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。

「会計基礎研修ⅡAコース」開催要項

研修番号

13

集合

1. テーマ

「社会福祉法人の会計実務と経営力向上
～具体的な会計処理の実務と経営戦略の策定～」

2. プログラム及び講師

講義・演習・・・会計事務担当職員向け

テーマ 「社会福祉法人特有の会計処理と日常会計業務の注意点」

～減価償却と国庫補助金等特別積立金の考え方・社会福祉充実残額の計算等～

社会福祉法人の合併・事業譲渡の基礎知識

講 師 税理士法人 田中・吉野会計 税理士 吉野 仁 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】 令和7年10月14日（火） 10:00～16:00

【会 場】 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】 70名

【対象者】 会計事務担当職員

5. テキスト

研修は専用のテキストを購入いただき使用しますが、

現在、改訂版発刊予定であり、書籍名等変更の可能性があります。

受講決定者に送付する「受講決定のお知らせ」に改訂版の情報を記載
しますので、必ず受講決定した後にお買い求めください。

（参考） 現行のテキスト:『経営力を高める社会福祉法人会計の実践

～予算の立て方から決算まで～』（田中育雄／吉野縫子／吉野仁：清文社）



6. ねらい

会計事務担当職員向けに、簿記会計の基礎である仕訳を中心に、社会福祉法人特有の注意すべき会計処理、月次処理等の基礎を学ぶとともに、社会福祉充実残額算定実務を復習します。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	「合併・事業譲渡の基礎知識」「社会福祉法人の注意すべき会計処理」
12:30	昼休憩
13:30	「社会福祉法人の注意すべき会計処理と 社会福祉充実残額算定の実務」
16:00	

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 受講コースが分かれていますので、研修名をお間違いなくお申し込みください。
（A:会計事務担当職員向け、B:経営者・管理者向け）
- (2) 当日、電卓が必要となります。また、Bコースでは、可能な場合、所属法人の決算書を
持参してください。その他、所属で使用されている名札、筆記用具をお持ちください。
昼食は各自でおとりください。
- (3) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会との共催となります。
- (4) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (5) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (6) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
またその他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (9) 本研修は3回受講を推奨ですが、講座ごとでもご参加いただけます。

Aコース 次回の研修について（内容は予定です。）

第3回：令和7年11月11日（火）

社会福祉法人の予算・決算 作成すべき計算書類 社会福祉充実残額

「排泄ケア研修」開催要項

研修番号

14

集合

1. テーマ

「おむつのフィッティングをマスターする
～安心・安全・快適な介助方法～」

2. 講師

よりそっと 代表 山本 正子 氏

おむつフitter1級 おむつフitterJ 認定講師 医療福祉環境シニアアドバイザー

よりそっと生きがい講座など、介護現場のスキルアップに関する研修や定期講座の企画・運営に携わる他、講師育成などのプロデュース活動、よりそっとオリジナル商品の開発、販売なども手掛け、活躍は多岐に渡る。

医療関連用品メーカーのアドバイザーの経験を活かし、病院や施設などで、介護現場の接遇から排泄ケアの向上を目的とした講義や指導を行っており、現場の職員がすぐに活かせる実践的な内容が人気で、多くの支持を得ている。よりそっと認定資格(おむつライセンス・おむつ専門士)講座スタート。

会社員時代の経験を活かし、人生の先輩方が笑顔で暮らすことができるように「認知症予防」など「その人らしさを支援したい」という思いから、2014年に独立開業。屋号の「よりそっと」の由来は、「寄り添って、サポート」「排泄のことだから・・・より、そーっと」という思いから。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月16日(木) 10:00～16:00

【会 場】名古屋市医師会館 6階 講堂

名古屋市東区葵1-4-38

最寄駅:地下鉄「新栄町」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所職員

5. ねらい

利用者、入居者に対する排泄ケアとして、介助のポイントを意識しながら、介助現場ですぐに活かせるおむつのフィッティングのポイントと技術を習得する。おむつの装着実技を通して、排泄ケアの意義やおむつの果たす役割、おむつの選び方や上手な使い方を学び、排泄介助の負担の軽減や利用者が望む生活を過ごしていただくためのスキルを学ぶ。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	実技・演習・解説
12:00	昼休憩
13:00	実技・演習・解説
16:00	

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日 (火)

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。(https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyout)

名古屋市社協 と **社会福祉研修センター** で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8 月 1 9 日 (火)** までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他 (注意事項等)

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
 なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
 事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、
 お知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
 「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前確認事項があります。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする
 「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

○以下の 2 点をご持参ください。

- ① **筆記用具**
- ② **バスタオル 1 枚** (実技の際、床に敷きます。)

○おむつフィッティングに適した動きやすい服装 (スカートではないパンツスタイル)
 でお越しください。当日は更衣室がありませんので、ご了承ください。

研修番号

15

集合

「会計基礎研修ⅡBコース」開催要項

1. テーマ

「社会福祉法人の経営力の向上をめざして
～SWOT 分析やバランススコアカードを活用した経営戦略の策定と
中長期的な事業計画・資金計画～」

2. プログラム及び講師

講義・演習・・・経営者・管理者向け

テーマ「社会福祉法人の経営力の向上をめざして

～経営戦略の策定と中長期的な事業計画・資金計画

SWOT 分析やバランススコアカードを活用した経営戦略の策定～」

講 師 税理士法人 田中・吉野会計 税理士 吉野 縫子 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】 令和7年10月17日（金） 10：00～16：00

【会 場】 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】 40名

【対象者】 経営者・管理者

5. テキスト

研修は専用のテキストを購入いただき使用しますが、

現在、改訂版発刊予定であり、書籍名等変更の可能性があります。

受講決定者に送付する「受講決定のお知らせ」に改訂版の情報を記載
しますので、必ず受講決定した後にお買い求めください。

（参考）現行のテキスト：『経営力を高める社会福祉法人会計の実践

～予算の立て方から決算まで～』（田中育雄／吉野縫子／吉野仁：清文社）



6. ねらい

経営者・管理者向けに、SWOT 分析を活用して業務を客観的に分析・再評価し、経営戦略に基づく事業運営の基礎、バランススコアカードの策定方法を学びます。施設の維持管理・建替えを経営戦略の中で位置づけ確実な実行を目指します。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	「経営戦略策定の基本原則、SWOT 分析、クロス分析を学ぶ」
12:00	昼休憩
13:00	「バランススコアカードの策定」
16:00	

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 1 9 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 受講コースが分かれていますので、研修名をお間違いなくお申し込みください。
(A:会計事務担当職員向け、B:経営者・管理者向け)
- (2) 当日、電卓が必要となります。また、Bコースでは、可能な場合、所属法人の決算書を
持参してください。その他、所属で使用されている名札、筆記用具をお持ちください。
昼食は各自でおとりください。
- (3) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会との共催となります。
- (4) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (5) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (6) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
またその他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (9) 本研修は3回受講を推奨ですが、講座ごとでもご参加いただけます。

Bコース 次回の研修について（内容は予定です。）

第3回 ： 令和 7 年 1 1 月 1 3 日（木）

社会福祉法人の予算・決算と事業計画 社会福祉充実残額

「普通救命研修」開催要項

研修番号

16

集合

1. テーマ

「救急法について学ぶ

～ “もしも” のための応急手当（普通救命講習）～」

2. 講師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月21日（火） 9：30～12：30

【会 場】MOBILITY GATE 吹上 1階イベントホール

千種区千種3-5-7

最寄駅：地下鉄桜通線「吹上」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】20名（原則、1施設につき1名）

※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. ねらい

利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的には、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

6. 日 程

9:15	9:30	12:30
受 付	講義・実技 「救急法について学ぶ」	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。（<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 期間中に同研修が4回ありますので、日付と午前・午後をお間違えのないようお申し込みください。
- (2) 名古屋市高齢・障害福祉職員研修にて本年度、全12回開催の「普通救命研修」はすべて、消防署が開催する定期講習の「普通救命講習1」と同一内容で開催します。
- (3) 本研修は修了証が発行されます。既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場にてご提出ください。
なお、遅刻や早退をされた場合、修了証は発行されません。
- (4) 欠席の場合は、必ず事前にご連絡ください。(連絡先Tel:745-6660)
- (5) 研修会場の駐車場は使用できませんので、公共交通機関でお越しください。
- (6) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」または「暴風警報」または「警戒レベル4」の発令が出された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は研修センターホームページでもお知らせします。
- (9) 受講決定者に対し、事前確認事項があります。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「普通救命研修」開催要項

研修番号

17

集合

1. テーマ

「救急法について学ぶ

～ “もしも” のための応急手当（普通救命講習）～」

2. 講師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月21日（火） 13:15～16:15

【会 場】MOBILITY GATE 吹上 1階イベントホール

千種区千種3-5-7

最寄駅:地下鉄桜通線「吹上」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】20名（原則、1施設につき1名）

※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. ねらい

利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的には、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

6. 日 程

13:00 13:15

16:15

受 付	講義・実技 「救急法について学ぶ」
--------	----------------------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。（<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 期間中に同研修が4回ありますので、日付と午前・午後をお間違えのないようお申し込みください。
- (2) 名古屋市高齢・障害福祉職員研修にて本年度、全12回開催の「普通救命研修」はすべて、消防署が開催する定期講習の「普通救命講習1」と同一内容で開催します。
- (3) 本研修は修了証が発行されます。既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場にてご提出ください。
なお、遅刻や早退をされた場合、修了証は発行されません。
- (4) 欠席の場合は、必ず事前にご連絡ください。(連絡先Tel:745-6660)
- (5) 研修会場の駐車場は使用できませんので、公共交通機関でお越しください。
- (6) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」または「暴風警報」または「警戒レベル4」の発令が出された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は研修センターホームページでもお知らせします。
- (9) 受講決定者に対し、事前確認事項があります。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「普通救命研修」開催要項

研修番号

18

集合

1. テーマ

「救急法について学ぶ

～ “もしも” のための応急手当（普通救命講習）～」

2. 講師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月22日（水） 9：30～12：30

【会 場】MOBILITY GATE 吹上 1階イベントホール

千種区千種3-5-7

最寄駅：地下鉄桜通線「吹上」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】20名（原則、1施設につき1名）

※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. ねらい

利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的には、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

6. 日 程

9:15	9:30	12:30
受 付	講義・実技 「救急法について学ぶ」	

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。（<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 期間中に同研修が4回ありますので、日付と午前・午後をお間違えのないようお申し込みください。
- (2) 名古屋市高齢・障害福祉職員研修にて本年度、全12回開催の「普通救命研修」はすべて、消防署が開催する定期講習の「普通救命講習1」と同一内容で開催します。
- (3) 本研修は修了証が発行されます。既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場にてご提出ください。
なお、遅刻や早退をされた場合、修了証は発行されません。
- (4) 欠席の場合は、必ず事前にご連絡ください。(連絡先Tel:745-6660)
- (5) 研修会場の駐車場は使用できませんので、公共交通機関でお越しください。
- (6) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」または「暴風警報」または「警戒レベル4」の発令が出された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は研修センターホームページでもお知らせします。
- (9) 受講決定者に対し、事前確認事項があります。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「普通救命研修」開催要項

研修番号

19

集合

1. テーマ

「救急法について学ぶ

～ “もしも” のための応急手当（普通救命講習）～」

2. 講師

名古屋市救急救命研修所 応急手当研修センター 指導員

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月22日（水） 13:15～16:15

【会 場】MOBILITY GATE 吹上 1階イベントホール

千種区千種3-5-7

最寄駅:地下鉄桜通線「吹上」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】20名（原則、1施設につき1名）

※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】障害福祉施設および高齢者福祉施設に勤務する職員

5. ねらい

利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的には、心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。

6. 日 程

13:00 13:15

16:15

受 付	講義・実技 「救急法について学ぶ」
--------	----------------------

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。（<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 期間中に同研修が4回ありますので、日付と午前・午後をお間違えのないようお申し込みください。
- (2) 名古屋市高齢・障害福祉職員研修にて本年度、全12回開催の「普通救命研修」はすべて、消防署が開催する定期講習の「普通救命講習1」と同一内容で開催します。
- (3) 本研修は修了証が発行されます。既に名古屋市消防局発行の「普通救命講習」修了証をお持ちの方は、研修会場にてご提出ください。
なお、遅刻や早退をされた場合、修了証は発行されません。
- (4) 欠席の場合は、必ず事前にご連絡ください。(連絡先Tel:745-6660)
- (5) 研修会場の駐車場は使用できませんので、公共交通機関でお越しください。
- (6) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」または「暴風警報」または「警戒レベル4」の発令が出された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となる場合があります。
中止の場合は研修センターホームページでもお知らせします。
- (9) 受講決定者に対し、事前確認事項があります。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「防災研修（AM）」開催要項

1. テーマ

「BCPの共有を通して考える“災害に強い事業所”
～事業所同士で学び合い、災害時の備えへの課題に気づく～」

2. 講師

愛知医科大学看護学部 地域・在宅看護学 教授 佐々木 裕子 氏

訪問看護の実践経験を活かし大学で看護教育に携わる。阪神淡路大震災以降各地の被災地での支援に取り組み、その経験を活かし災害時要配慮者への対策に取り組む。BCPや災害時個別支援計画等をテーマにした研修・講演の実績多数。（認定NPO）レスキューストックヤード専門職パートナー。

愛知医科大学看護学部 臨床実践看護学 講師 橋本 茜 氏

大学病院の集中治療室・救急外来での臨床経験を基盤として、大学で看護教育に携わる。災害支援NPOに所属し、東日本大震災の際には気仙沼、南三陸町にて被災地支援に取り組んだ。

愛知医科大学看護学部 公衆衛生看護学 講師 二村 純子 氏

行政保健師を経て、大学部で公衆衛生看護学、災害看護学等を担当する。令和6年能登半島地震を機に、石川県穴水町で被災者の生活支援にも携わる。防災士。

認定NPO 法人レスキューストックヤード ボランティア看護・福祉チーム 藤井 文香 氏

訪問看護の経験を活用し、2016年熊本地震より被災地でボランティア活動を行っている。防災士としても活躍し、各地で講演も行う。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月24日（金） 10:00～12:30

【会 場】名古屋能楽堂 会議室

名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

最寄駅：地下鉄鶴舞線「浅間町」駅 1番出口より東へ徒歩14分

地下鉄名城線「名古屋城」駅 7番出口より西へ徒歩15分

4. 定員及び対象者

【定 員】50名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉サービス事業所の施設長、管理者等

（平時の防災対策担当職員や発災時に各種調整業務を担当する職員を含む）

5. ねらい

近年、地震や水害などの自然災害が各地で頻発しており、福祉事業所においても「身体・生命の安全確保と物的被害の軽減を目的とした防災計画の作成と、優先的に継続・復旧すべき重要業務の継続あるいは早期復旧を目指す事業継続計画（BCP）の立案」と、実効性のある対策づくりが強く求められています（厚生労働省、2024。<https://www.mhlw.go.jp/content/000749543.pdf>）。本研修では、参加事業所におけるBCPを共有・意見交換と、講師からの助言に加え、災害ボランティアとして災害支援および名古屋市内での防災活動に取り組む地域住民の多角的な視点から意見・情報を受け相互に学び合うことから、各事業所のBCPの強みや課題について検討し、災害に対する日常の備えや地域との連携について考える機会とします。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	<ワークショップ> 「BCPの共有を通して考える“災害に強い事業所”」 ＊グループに分かれて実施します。
12:30	＊参加者同士および災害ボランティアからの質疑や意見交換と、 講師からの質疑助言を受け、グループワークを進めます。

※一部内容を変更する場合があります。

※開始5分前より注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。<http://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

（1）研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。

なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
 事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。

（2）講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。

緊急連絡等は会場外でお願いします。

（3）都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。

（4）研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
 場合は、事前にお知らせください。

（5）受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
 「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。

また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。

中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。

（6）受講決定者に対し、事前レポートを設けます。

また、一部の方にはBCP事例の提供役をお願いいたします。

詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「防災研修（PM）」開催要項

1. テーマ

「BCPの共有を通して考える“災害に強い事業所”
～事業所同士で学び合い、災害時の備えへの課題に気づく～」

2. 講師

愛知医科大学看護学部 地域・在宅看護学 教授 佐々木 裕子 氏

訪問看護の実践経験を活かし大学で看護教育に携わる。阪神淡路大震災以降各地の被災地での支援に取り組み、その経験を活かし災害時要配慮者への対策に取り組む。BCPや災害時個別支援計画等をテーマにした研修・講演の実績多数。（認定NPO）レスキューストックヤード専門職パートナー。

愛知医科大学看護学部 臨床実践看護学 講師 橋本 茜 氏

大学病院の集中治療室・救急外来での臨床経験を基盤として、大学で看護教育に携わる。
災害支援NPOに所属し、東日本大震災の際には気仙沼、南三陸町にて被災地支援に取り組んだ。

愛知医科大学看護学部 公衆衛生看護学 講師 二村 純子 氏

行政保健師を経て、大学部で公衆衛生看護学、災害看護学等を担当する。
令和6年能登半島地震を機に、石川県穴水町で被災者の生活支援にも携わる。防災士。

認定NPO 法人レスキューストックヤード ボランティア看護・福祉チーム 藤井 文香 氏

訪問看護の経験を活用し、2016年熊本地震より被災地でボランティア活動を行っている。
防災士としても活躍し、各地で講演も行う。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月24日（金） 13：30～16：00

【会 場】名古屋能楽堂 会議室

名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

最寄駅：地下鉄鶴舞線「浅間町」駅 1番出口より東へ徒歩14分

地下鉄名城線「名古屋城」駅 7番出口より西へ徒歩15分

4. 定員及び対象者

【定 員】50名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉サービス事業所の施設長、管理者等

（平時の防災対策担当職員や発災時に各種調整業務を担当する職員を含む）

5. ねらい

近年、地震や水害などの自然災害が各地で頻発しており、福祉事業所においても「身体・生命の安全確保と物的被害の軽減を目的とした防災計画の作成と、優先的に継続・復旧すべき重要業務の継続あるいは早期復旧を目指す事業継続計画（BCP）の立案」と、実効性のある対策づくりが強く求められています（厚生労働省、2024. <https://www.mhlw.go.jp/content/000749543.pdf>）。本研修では、参加事業所におけるBCPを共有・意見交換と、講師からの助言に加え、災害ボランティアとして災害支援および名古屋市内での防災活動に取り組む地域住民の多角的な視点から意見・情報を受け相互に学び合うことから、各事業所のBCPの強みや課題について検討し、災害に対する日常の備えや地域との連携について考える機会とします。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
13:00	受付
13:30	<ワークショップ> 「BCPの共有を通して考える“災害に強い事業所”」 ＊グループに分かれて実施します。
16:00	＊参加者同士および災害ボランティアからの質疑や意見交換と、 講師からの質疑助言を受け、グループワークを進めます。

※一部内容を変更する場合があります。

※開始5分前より注意事項等の説明を行います。

※適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。<http://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyoku>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
 なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
 事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
 場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
 「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前レポートを設けます。
 また、一部の方にはBCP事例の提供役をお願いいたします。
 詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。

「薬学基礎知識研修(高齢)」開催要項

研修番号

21

オンライン

1. テーマ

「福祉専門職として、これだけは知っておきたい薬の基礎知識」

2. 講師

名古屋市薬剤師会 近藤 満里子 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月30日(木) 10:00～16:00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢関係事業所に勤務する職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows11 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC 内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

薬には副作用があるものも多いため、利用者の心身の状態と薬の効果・作用等についてよく理解し、正しい知識を身に付けることが大切である。そこで、福祉専門職に必要な服薬管理に関する基礎知識及び副作用や相互作用、注意点について学ぶ事で、利用者の安全確保につなげる機会とする。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	操作説明
10:00	【講義】 「薬の基礎知識」「疾病・症状と薬について」
12:00	昼休憩
13:00	【講義・演習】
15:50	「疾病・症状と薬について」
15:50	質疑応答
16:00	

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和 7 年 8 月 12 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8 月 19 日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- （１）本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには
PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- （２）本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、
必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- （３）本研修は音声だけの参加や聴講のみの参加はできません。
必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- （４）１端末につき１名参加することができます。※１台の PC で複数名の受講は不可。
- （５）受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。

「認知症の理解と支援について学ぶ研修」開催要項

1. テーマ

「認知症を理解し、寄り添い支える力を育む
～ “その人らしさ” を大切にした支援のために～」

2. 講師

特別養護老人ホームフラワー園 施設ゼネラルマネージャー
名古屋市認知症介護指導者 上本 純也 氏

＜プロフィール＞

地域に向け認知症サポーター養成講座や介護施設等の外部講師、高校の非常勤教師を務める。
『認知症あるなし関係なく住みやすい街づくり』をビジョンに掲げ活動している。

和みの家デイサービス 管理者

名古屋市認知症介護指導者 小島 刀子 氏

＜プロフィール＞

日々、認知症のご本人やご家族の支援に取り組むとともに、家族教室や認知症カフェなどを通じて地域での啓発活動にも力を入れている。

居宅介護支援事業所ケアマキス笹原 介護支援専門員

名古屋市認知症介護指導者 野田 純子 氏

＜プロフィール＞

基礎資格は准看護師。病棟、保育園勤務、子育てを経て介護の世界に。
現在は居宅のケアマネジャーとして、人生の大先輩方がよりよく暮らすための伴走を心がけている。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年10月31日（金） 10:00～16:00

【会 場】imy 会議室 4階 大会議室

名古屋市東区葵3-7-14 I.M.Y.ビル

最寄駅:地下鉄 東山線「千種」駅、桜通線「車道」駅・JR「千種」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所職員

5. ねらい

認知症に関する基礎的な知識を深めるとともに、認知症のある方の視点に立った支援のあり方を学びます。

中核症状や行動・心理症状（BPSD）を正しく理解し、日々の実践において「その人らしさ」を尊重した関わり方や支援の工夫を考えることを目的としています。

また、施設内の対応だけでなく、地域社会においても認知症のある方やそのご家族にやさしい環境づくりを推進し、共に支え合う社会の実現を考える機会とします。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	講義・演習 「認知症と認知症の人の理解」
11:45	昼休憩（休憩時間は 15 分ほど前後することがあります）
12:45	講義・演習・まとめ 「その人らしさを大切に」
16:00	～認知症の人と家族に寄り添う支援方法～

※計画であり、若干の時間や流れの変更の可能性があります。

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 12 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8 月 19 日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- （１）研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- （２）講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- （３）都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- （４）研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
場合は、事前にお知らせください。
- （５）受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。

「人権・倫理研修（中堅職員向け）」開催要項

1. テーマ

「日常業務から見る人権・倫理
～現場で迷うことに答えを見つけるための知識・視点～」

2. 講師

株式会社イコール 代表取締役 小林 知久 氏

＜プロフィール＞

東京都東大和市など4市区で介護保険・障害の訪問系介護事業を運営。従業員 103 名。
2003 年 24 歳の時に母と創業、2014 年社長就任。2011 年より、自社の業務効率化・ICT 導入を実施。80 歳までの全職員がスマホ現場記録やオンライン会議が出来る体制にし、福利厚生を拡充。
”採用に困らない”事業所となる。ノウハウをサイト等で発信。1977 年生、早稲田大学卒。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和 7 年 11 月 5 日（水） 10:00～16:00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOM を使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】80 名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務し、従事期間が概ね 3～5 年の職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows11 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9 インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC 内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

福祉従事者として身に着けておくべき人権や職業倫理について学び、職場での教育に取り入れてもらうとともに、他所属・他職種の受講者同士で日々の業務を行う上でのアドバイスや悩みを共有する機会とする。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	操作説明
10:00	【講義】 「もし世界に人権が存在しなかったら」 「利用者の人権」 「労働者の人権」
12:00	昼休憩
13:00	【講義・演習】 「倫理の多面性」 「介護専門家としての倫理」
16:00	「倫理の磨き方」

※開始15分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と **社会福祉研修センター** で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8月19日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 本研修はZOOMを使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくにはPC及びインターネット環境が整っている必要があります。
- (2) 本会ホームページにZOOMの動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- (3) 本研修は音声だけの参加や聴講のみの参加はできません。
必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- (4) 1端末につき1名参加することができます。※1台のPCで複数名の受講は不可。
- (5) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となる場合があります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。

「感染症対策研修」開催要項

1. テーマ

「知っているようで知らない感染対策」

2. 講師

浜松医科大学 医学部 看護学科 教授 脇坂 浩 氏

<プロフィール>

大学卒業後看護師として、大学病院の集中治療室などで約 10 年勤務し、その後大学において急性期看護学、感染看護学を教授している。附属の大学病院の感染対策チームでも活動している。また、感染対策のスペシャリストである感染管理認定看護師の育成に携わっている。現在、高齢者介護施設における集団感染の分析と対策に関する研究に取り組んでいる。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和 7 年 11 月 7 日（金） 10：00～16：40

【会 場】オンライン会場 ※ZOOM を使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100 名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所職員

5. 参加にあたりご準備いただくもの

- (1) パソコン（Windows11 推奨）及びインターネット環境（光回線）
※7.9 インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。
なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。
- (2) 静かな環境（部屋）
※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。
- (3) ヘッドセット（マイクとイヤホン） ※PC 内蔵のものでも可能です。
- (4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、インフルエンザ、食中毒、ノロウイルスといった健康被害を及ぼす感染症に対して、高齢・障害福祉事業所に適した感染予防と発症時の迅速な対処について学習する。加えて、感染予防として、日常業務で使用している消毒薬に焦点をおき、適切な使用法と管理について学習する。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	操作説明
10:00	【講義】 「高齢・障害福祉事業所における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とインフルエンザの感染対策（予防とクラスターの対応）」
12:00	昼休憩
13:00	【講義・演習】 「高齢・障害福祉事業所における食中毒の予防、ノロウイルスの感染対策、消毒薬の適切な使用と管理」
16:00	高齢者及び障害者虐待防止法の理解
16:40	

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※16 時より高齢者及び障害者虐待防止法について理解を図る研修を実施させていただきます。

8. 申込期限

令和 7 年 8 月 12 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。（ <https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu> ）

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8 月 19 日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- （1）本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- （2）本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- （3）本研修は音声だけでの参加や聴講のみの参加はできません。
必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- （4）1 端末につき 1 名参加することができます。※1 台の PC で複数名の受講は不可。
- （5）受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となる場合があります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- （6）本研修は、令和 7 年 7 月 18 日（金）に開催した研修と同一内容です。

「予算・決算対策研修 A コース」開催要項

1. テーマ

「社会福祉法人における事業計画と予算・決算実務
～予算策定のポイントと決算処理の注意点～」

2. プログラム及び講師

講義・演習・・・会計事務担当職員向け

テーマ「社会福祉法人の予算・決算

～作成すべき計算書類と具体的な決算処理・予算作成～

日常業務での印紙税について」

講 師 税理士法人 田中・吉野会計 税理士 吉野 仁 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年11月11日（火）10：00～16：00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】70名

【対象者】会計事務担当職員

5. テキスト

研修は専用のテキストを購入いただき使用しますが、

現在、改訂版発刊予定であり、書籍名等変更の可能性があります。

受講決定者に送付する「受講決定のお知らせ」に改訂版の情報を記載
しますので、必ず受講決定した後にお買い求めください。

（参考）現行のテキスト：『経営力を高める社会福祉法人会計の実践

～予算の立て方から決算まで～』（田中育雄／吉野縫子／吉野仁：清文社）



6. ねらい

会計事務担当職員向けに社会福祉法人会計基準に則った決算処理や予算作成の
ポイント及び予算書作成の実務について学びます。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	「日常業務での印紙税の理解」「事業計画の重要性」 「社会福祉法人の予算・決算」
12:00	昼休憩
13:00	「社会福祉法人の予算・決算」
16:00	

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。(<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 1 9 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

(1) 受講コースが分かれていますので、研修名をお間違いなくお申し込みください。

(A: 会計事務担当職員向け、B: 経営者・管理者向け)

(2) 当日、電卓が必要となります。また、Bコースでは、可能な場合、所属法人の決算書を
持参してください。その他、所属で使用されている名札、筆記用具をお持ちください。
昼食は各自でおとりください。

(3) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会との共催となります。

(4) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。

なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。

(5) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。

緊急連絡等は会場外でお願いします。

(6) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。

(7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
場合は、事前にお知らせください。

(8) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。

また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。

中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。

(9) 本研修は、「会計基礎研修 I・II」の講座を受講されていない方も、受講いただけます。

「労務管理研修」開催要項

研修番号

26

オンライン

1. テーマ

「社会福祉施設における労務管理と法律制度
～適切な労務管理に関する基礎知識と必要書類の作成～」

2. 講師

一般社団法人名北労働基準協会 愛知労務管理コンサルティング
特定社会保険労務士 加藤 豊 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年11月12日（水） 10:00～16:00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する管理者、人事労務事務担当者

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン（Windows11 推奨）及びインターネット環境（光回線）

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境（部屋）

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット（マイクとイヤホン） ※PC 内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

近年では施設経営環境の変化に伴い、常勤や非常勤、パート勤務といったさまざまな雇用形態があり、労働時間管理や就業管理もこれまで以上に煩雑になっている。そこで、福祉施設の職場・職員に関する労務管理や法律制度の基礎知識、さらに具体的な事例を元にしたケーススタディから労務管理に必要な書類作成を行い、職員が働きやすい良好な職場環境を整える方策について考える機会とする。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	操作説明
10:00	【講義・演習】 福祉施設における労務管理と法律制度 「労務管理・必要書類作成の基礎知識」
12:00	昼休憩
13:00	【講義・演習】 「福祉施設における労務管理と法律制度」
16:00	「労務管理・必要書類作成の基礎知識」

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和 7 年 8 月 12 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 19 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- （１）本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- （２）本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- （３）本研修は音声だけの参加や聴講のみの参加はできません。
必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- （４）1 端末につき 1 名参加することができます。※ 1 台の PC で複数名の受講は不可。
- （５）受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
またその他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。

「予算・決算対策研修 B コース」開催要項

1. テーマ

「社会福祉法人における事業計画と予算・決算実務
～予算策定のポイントと決算処理の注意点～」

2. プログラム及び講師

講義・演習・・・経営者・管理者向け

テーマ 「社会福祉法人の予算・決算と合併手続きの基礎
～社会福祉充実計画の作成と予算の立て方、決算のポイント～」

講 師 税理士法人 田中・吉野会計 税理士 吉野 縫子 氏

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年11月13日（木）10：00～16：00

【会 場】名古屋市総合社会福祉会館 7階 研修室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅：地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】40名

【対象者】経営者・管理者

5. テキスト

研修は専用のテキストを購入いただき使用しますが、
現在、改訂版発刊予定であり、書籍名等変更の可能性があります。
受講決定者に送付する「受講決定のお知らせ」に改訂版の情報を記載
しますので、必ず受講決定した後にお買い求めください。

（参考）現行のテキスト：『経営力を高める社会福祉法人会計の実践

～予算の立て方から決算まで～』（田中育雄／吉野縫子／吉野仁：清文社）



6. ねらい

経営者・管理者向けに、事業計画・社会福祉充実計画の立て方や現場からの積み上げ方式による予算作成方法、事業計画に基づき、積立金を積み立てるなどの決算時の注意点等について学びます。

法人が合併する場合の手続きの流れを理解します。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	「社会福祉法人における予算・決算」
12:00	昼休憩
13:00	「社会福祉法人における予算・決算と社会福祉充実計画」
16:00	「合併手続きの流れ」

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

8. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 1 9 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- (1) 受講コースが分かれていますので、研修名をお間違いなくお申し込みください。
 (A:会計事務担当職員向け、B:経営者・管理者向け)
- (2) 当日、電卓が必要となります。また、Bコースでは、可能な場合、所属法人の決算書を
 持参してください。その他、所属で使用されている名札、筆記用具をお持ちください。
 昼食は各自でおとりください。
- (3) 本研修は、名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会との共催となります。
- (4) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
 なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
 事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (5) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (6) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (7) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
 場合は、事前にお知らせください。
- (8) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
 「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (9) 本研修は、「会計基礎研修Ⅰ・Ⅱ」の講座を受講されていない方も、受講いただけます。

「サビ管・児発管のための個別支援計画作成研修」開催要項

1. テーマ

「実践が活きる個別支援計画作成のためのワークショップ
～本人のねがいを受けとめた豊かな地域生活の支援のために～」

2. 講師

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 教授 木全 和巳 氏

＜プロフィール＞

愛知教育大学大学院を修了後、名古屋市職員に。社会福祉学博士。社会福祉士。
児童養護施設保育士、知的障害児施設指導員、情緒障害児短期治療施設セラピストを経験。
日本福祉大学の教員になり、24年目。専門分野は障害児者の福祉。
著書『安心して豊かに暮らせる地域をつくる』『〈しょうがい〉と〈セクシュアリティ〉の相談と支援』など。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年11月14日(金) 10:00～16:00

【会 場】MOBILITY GATE 吹上 2階 大会議室
千種区千種3-5-7
最寄駅:地下鉄桜通線「吹上」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】 50名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】 障害福祉事業所に勤務する サービス管理責任者および児童発達支援管理責任者

5. ねらい

支援計画（具体的な手立て）は、誰のためにつくるのですか？ 利用者？ 支援者？ その理由は？ 実践には、計画はつきものです。対人援助や生活支援の実践も同様です。よい計画をつくるためには、しっかりとした見立て（分析）が必要ですね。しっかりとした見立て（分析）をするためには、丁寧な情報収集（アセスメント）が欠かせません。こうしたお互いに深く知り合う作業そのものが、信頼関係を深め、実践の質を豊かなものにしていきます。机上の理念ではなく、実際に作成した計画を見直しながら、大切なポイントを確認しましょう。

※本研修では、作成した個別支援計画の見直しをし、新しく作成し直す演習を実施します。

また、事前課題を設けます。詳しくは受講決定後にお知らせいたします。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	講義・演習 「個別支援計画とは」
12:00	昼休憩
13:00	講義・演習
16:00	「計画の見直し」「ポイントの確認」

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
 お願いします。<http://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 1 9 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
 「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
 なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
 事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
 場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
 「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 本研修は、令和 7 年 9 月 1 0 日(水)開催の研修と同一内容です。

「対人援助技術研修」開催要項

研修番号

29

集合

1. テーマ

「『“その人”の人生の物語』に寄り添う対人援助技術」

2. 講師

社会福祉法人半田市社会福祉協議会

コミュニティソーシャルワーカー 前山 憲一 氏

<プロフィール>

1964年 三重県出身。

1990年 日本福祉大学社会福祉学部Ⅱ部卒業。

同年 医療法人鴻池会（奈良県）に入職。老人保健施設デイケアの相談・介護職を皮切りに、MSW・PSW・介護支援専門員などに従事。

2003年 半田市福祉部福祉課と嘱託契約。主に障害のある人々の相談支援に従事。

2007年 社会福祉法人半田市社会福祉協議会に入職。地域包括支援センター所長などを経て現職。

この他に日本福祉大学非常勤講師（ケアマネジメント演習）、NPO法人知多地域権利擁護支援センター理事、NPO法人野中ケアマネジメント研究会理事、合同会社HAGKUMI（ハグクミ）フェロー。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年11月20日（木） 10:00～16:00

【会 場】imy 会議室 4階 大会議室

名古屋市東区葵3-7-14 I.M.Y.ビル

最寄駅：地下鉄 東山線「千種」駅、桜通線「車道」駅・JR「千種」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に従事し、従事期間が概ね1年未満の者

5. ねらい

この研修は、対人援助職として経験の浅い方々を対象とし、よりよい対人援助を実践するための基本的な知識・技術・態度を学びます。

特に、支援が必要な人の人となりを理解し寄り添う「伴走型支援」のあり方を中心に、アセスメントや多職種連携の基本的な考え方を身につけていただくことをねらいとします。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	【講義】 対人援助の基本技術
12:00	昼休憩
13:00 16:00	【演習・事例検討】

※開始5分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

7. 申込期限

令和7年8月12日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyou>

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※ 8月19日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる
場合は、事前にお知らせください。
- (5) 受付開始2時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
「警戒レベル4」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となる場合があります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- (6) 本研修は、令和7年8月7日（木）に開催の研修と同一内容です。

「人材育成研修」開催要項

1. テーマ

オンライン

「職員の能力を伸ばすキャリアパスの構築と活用について」

2. 講師

高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 永田 理香 氏

＜プロフィール＞

群馬県生まれ。専門は福祉人材育成論。群馬県社会福祉協議会研修担当、群馬県スクールソーシャルワーカー等を経て現職。教育学修士、コミュニティ福祉学博士(立教大学)。社会福祉士。現在の研究テーマは、福祉・介護サービス従事者のキャリアパスを基盤とした人材育成方法について。人材育成認証評価制度の設計等に関わり、キャリアパスの構築方法をはじめとした、福祉職場が主導して取り組める人材育成方法について、実証的な視点から研究活動を行っている。

3. 開催日時及び会場

【日 時】令和7年11月21日(金) 10:00～16:00

【会 場】オンライン会場 ※ZOOMを使用したオンラインでの研修となります。

4. 定員及び対象者

【定 員】80名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】高齢・障害福祉事業所に勤務する管理者、
人事労務事務担当者及び職場内研修担当者

5. 参加にあたりご準備いただくもの

(1) パソコン (Windows11 推奨) 及びインターネット環境 (光回線)

※7.9インチ以上のタブレットでも可能ですが、Wi-Fi 環境が必須となります。

なお、スマートフォンでの参加はご遠慮ください。

(2) 静かな環境 (部屋)

※周囲の音量によっては研修に支障がでることがあります。

(3) ヘッドセット (マイクとイヤホン) ※PC 内蔵のものでも可能です。

(4) Web カメラ ※PC 内蔵のものでも可能です。

6. ねらい

福祉・介護分野の仕事は、専門的な知識、技術が求められているため、施設・事業所は法人の理念や方針、求める職員像を明確にしながら、職員が中長期的に成長できる適切な仕組みを準備することが必要であり、各施設・事業所ごとに個人の職業経歴上の道筋(キャリアパス)に対応した職員育成体制づくりについて、工夫されながら進めていると思います。

今回は、それぞれの施設・事業所にあったキャリアパスの構築方法や活用方法等、福祉職場が主導して取り組める人材育成方法について、受講生間の情報交換等も含め、実証的な視点で学びます。

7. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:15	受付開始
9:45	操作説明
10:00	【講義・演習】 「福祉人材育成の現状と課題 ―キャリアパスの基本的理解―」
12:00	昼休憩
13:00	【講義・演習】 「キャリアパスの構築及び活用方法について」
16:00	

※開始 15 分前から注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※研修は参加型のため、皆様のご質問や理解度で研修進行など、変更する場合があります。

8. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※8 月 1 9 日（火）までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

9. その他

- （１）本研修は ZOOM を使用したオンラインでの研修となりますので、ご参加いただくには PC 及びインターネット環境が整っている必要があります。
- （２）本会ホームページに ZOOM の動作確認方法を掲載しておりますので、必ずお申込み前に動作確認をお願いいたします。
- （３）本研修は音声だけの参加や聴講のみの参加はできません。
必ずビデオで顔が映り、音声で発言ができる状態でのご参加となります。
- （４）１端末につき１名参加することができます。※１台の PC で複数名の受講は不可。
- （５）受付開始２時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または「警戒レベル４」等が発令された場合は、研修を中止します。
また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
中止の場合は社会福祉研修センターホームページでもお知らせします。
- （６）受講決定者に対し、事前レポートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。
- （７）本研修は、令和 7 年 8 月 5 日（火）に開催予定の研修と同一内容です。

「スーパービジョン研修」開催要項

研修番号

31

集合

1. テーマ

「福祉・介護職員を支え育てるスーパービジョン
～基礎理論と方法～」

2. 講師

ソーシャルワーカーサポートセンター名古屋 (SSN) 代表 浅野 正嗣 氏

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程満期退学・福祉マネジメント修士。
主な職歴として、名古屋大学医学部附属病院・愛知県医師会難病相談室・刈谷豊田総合病院 MSW、金城学院大学人間科学部教授を歴任。現在は認知症介護研究・研修大府センター研修部アドバイザー。
その他の活動として刈谷中部地域包括支援センター・いなべ市地域包括支援センターアドバイザー、豊橋市患者総合支援センター医療福祉相談スーパーバイザー、ソーシャルワーク・スーパービジョン研究会共同代表。
著書として、『実践ソーシャルワーク・スーパービジョン』(編著)中央法規出版2023年、『保健・医療・福祉専門職のためのスーパービジョン 支援の質を高める手法の理論と実際』(編著)ミネルヴァ書房 2018 年、『スーパービジョンインソーシャルワーク第5版』(翻訳共著者数13名)中央法規 2016 年 11 月発行、『ソーシャルワーク・スーパービジョン実践入門』(編著)みらい 2011 年

3. 開催日時及び会場

【日 時】 令和7年11月28日(金) 10:00～16:30

【会 場】 名古屋市総合社会福祉会館 7階 大会議室

名古屋市北区清水4-17-1

最寄駅:地下鉄名城線「黒川」駅

4. 定員及び対象者

【定 員】 100名 ※申込が定員を超過した場合は抽選になります。

【対象者】 高齢・障害福祉事業所に従事し、概ね経験年数3～5年の職員

5. ねらい

「スーパービジョン」とは、指導・助言を通して初心者やスタッフを支え成長を促す指導法のひとつ。

職場全体の対人援助職としての専門性を向上させ、ひいては利用者の処遇向上に繋がるよう、「スーパービジョン」の基礎理論や、スーパーバイザー(指導者)の役割、スーパーバイジー(指導を受ける側)の成長を促す方法など、基本的な知識と方法論を1日で学ぶ入門研修。

6. スケジュールおよび講義内容

時間	内容
9:30	受付
10:00	＜講義・演習＞
12:00	昼休憩
13:00	＜講義・演習＞
16:30	

※開始 5 分前より注意事項等の説明を行います。

※昼休憩以外にも、適宜休憩を設けます。

※プログラムにより若干時間を変更する場合がございます。

7. 申込期限

令和 7 年 8 月 1 2 日（火）

※参加申込は、名古屋市社会福祉協議会 社会福祉研修センター ホームページから
お願いします。 (<https://www.kensyu-nagoyashakyo.jp/kousyuu>)

名古屋市社協 と 社会福祉研修センター で検索。

詳細はホームページに掲載されている「申込方法のご案内」をご覧ください。

※**8 月 1 9 日（火）**までに、受講決定者には「受講決定のお知らせ」を、落選者には
「落選のお知らせ」をメールで通知いたします。

8. その他

- (1) 研修会場には、受講者用駐車場はありませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
 なお、心身などの障害等により公共交通機関利用が困難な特段の事由がある場合は、
 事前に社会福祉研修センターまでご相談ください。
- (2) 講義・演習中の携帯電話やスマートフォンの操作は控えていただきます。
 緊急連絡等は会場外でお願いします。
- (3) 都合によりキャンセルされる場合は、必ず事前にご連絡ください。
- (4) 研修受講に際し、心身などの障害等により不安がある場合や、配慮が必要と思われる場合は、
 事前にお知らせください。
- (5) 受付開始 2 時間前の時点で、名古屋市において「特別警報」、「暴風警報」または
 「警戒レベル 4」等が発令された場合は、研修を中止します。
 また、その他やむを得ない事由が発生した場合も中止となることがあります。
 中止の場合は社会福祉研修センターホームページでお知らせします。
- (6) 受講決定者に対し、事前アンケートを設けます。詳細は抽選後、受講決定者へお送りする
 「受講決定のお知らせ」にてご連絡いたします。
- (7) 本研修は令和 8 年 1 月 1 6 日（金）にも同一内容で開催します。